

VOICE

Volunteers of International Communication & Exchange



Vol. 74

発行日 2023年3月31日
発行 熊本県国際協会
〒862-8570
熊本市中央区水前寺6-18-1
TEL 096-385-4488
FAX 096-277-7005
URL <http://www.kuma-koku.jp/>
E-mail kuma-koku@cup.ocn.ne.jp



「熊本国際交流祭典」を開催しました！

2022年11月20日(日)、熊本市サンロード新市街にて「熊本国際交流祭典」を開催しました。27回目の開催で、ステージショーをはじめ、パネル展示やバザー、着物体験・世界の民族衣装・異文化体験など様々な交流ゾーンに多くの方々が訪れ、皆さんの笑顔あふれるイベントとなりました。

また、ウクライナ避難民支援の募金も行い、たくさんのご厚意をいただきました。

ご来場者の皆さま、ご協力くださった関係者の皆さま、本当にありがとうございました！来年度の祭典もぜひ楽しみにしてください。

熊本県国際協会総会の開催について

2022年5月27日、水前寺共済会館グレースシアで令和4年度熊本県国際協会総会を開催しました。当日は会員59団体（うち委任状29団体）の出席のもと、令和3年度事業実績・収支決算及び令和4年度の事業計画・収支予算についての審議が行われ、全ての議案について承認されました。

議事終了後は、ウクライナ人のご家族がいらっしゃる津地秀隆様より、「ウクライナ避難民の現状について」と題して、ウクライナへの侵攻が始まった際の現地の状況をはじめ、ご子息を救出するまでに直面した様々な障害、ウクライナ避難民への必要な支援等について、ご講演を行っていただきました。



総会の様子

ウクライナ避難民支援事業について（中元支援員からの報告）

熊本県国際協会では、ウクライナからの避難民を積極的に受け入れるとの国の方針に全面的に協力し、来熊されたウクライナ避難民の方々の生活支援を目的として、今年度、ウクライナ避難民支援事業をスタートさせました。

7月中旬より、ウクライナ避難民受入専門支援員として、県内に避難しているウクライナの方へ一時支援金の支給の手続きや、病院の付き添い、居住に関する相談などの生活支援を行ってきました。着任以降、県内外問わず、様々な団体、企業、個人から支援の申し出があり、ウクライナ避難民への社会の関心度の高さを改めて感じました。

一方、人々の関心やメディアによる注目度も高い分、ウクライナの方にとっては困惑することも多いと感じています。実際、「なぜ、こんなにも写真を撮られるのか」と質問され、答えに窮したこともありました。

そのような中、県内在住のウクライナ避難民の方々の親睦を深め、熊本にもっと親しんでもらうことを目的として、2023年2月19日に阿蘇地域への日帰りツアーを開催。阿蘇神社では、特別に境内を見学させて頂いたり、その後のいちご農園や温泉でも快く迎えて頂いたり、ツアーをとおして熊本の人の温かさに触れることができました。

ウクライナへの侵攻に終わりが見えず、避難が長期化する中、ウクライナ避難民の方々も、支援を受けるフェーズから、自立のフェーズにきています。まだまだ課題もありますが、避難民の方が熊本の社会の一員となり、個人の魅力が十分に生かされるような支援事業を続けていきたいと思えます。

最後にご支援いただいた方々には、この場をお借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。



ウクライナ避難民ソロミアさんと中元支援員

今回は、熊本に来てくれたウクライナ出身のソロミア コティクさんにお話を伺いました。

Q.1 故郷はどんなところですか？
 ストルイ市は、ウクライナの首都キーウから西に612kmにある人口59,760人の町です。

Q.2 ご家族は？
 家族は4人(父、母、姉、私)、猫1匹、犬1匹、うさぎ1匹

Q.3 熊本の印象は？
 好きな熊本の料理は熊本ラーメン。驚いたことは夏の暑さ。

Q.4 休日はどのように過ごしますか？
 休日は友達と遊んで、買い物をして、国際交流会館で日本語を勉強して、新しい場所を散策します。

Q.5 熊本を外国に紹介するとしたら、
 ずばり何をアピールしますか？
 熊本城が有名です。食べ物と水も美味しいです。自然が豊かです。交通の便がよいです。

Q.6 今後の抱負を教えてください。
 いい仕事を見つけたいです、家族を旅行に呼びたいです。



Profile

名前 Solomia Kotyk

出身 ウクライナのストルイ市

趣味 テニス、水泳、旅行、食べ歩き、ショッピング、音楽鑑賞

大好物 すき焼き、ラーメン、餃子、ボルシチ、コーヒー

特技 車の運転、英語、英会話、翻訳(ウクライナ-英語)、エクセル



大分のスキー場にて



阿蘇親睦ツアーにて



キーウにて、お母さんと

玉名国際交流協会

玉名国際交流協会は、1984年アメリカのアトランタから15名のお客様が来玉されたことがきっかけで、県内初の民間の交流団体として発足しました。以来38年間、会員の皆様、そして玉名市のご理解とご協力のもと、活動を続けております。

コロナが流行る前は、ホストファミリーや通訳ボランティア、中学生のバスケットボールの交流、韓国、釜山の中学生と玉名市の中学生との交換ホームステイ事業等を行っていました。

最近では、去年の3月11日(金)に外国の方との交流会を開催。9カ国の方たちが集まり、玉名市長や、玉名教育長もお越し頂きました。とても楽しい1日でした。

また“太平洋の南に浮かぶ美しい島々の国”キリバス共和国の中には、玉名と同じ名前の『タマナ島』があることをきっかけに、国際交流の講演会を開催。日本人として初めてキリバス共和国に帰化したオノ・ケンタロ氏にご講演いただき、地球温暖化などの気候変動によるキリバス共和国が抱えている問題や、SDGsについて考える機会となりました。

ほかにも世界の料理教室、英会話教室、韓国語教室を開催。さらに昨年度から、外国の方にもっと日本の事を知ってもらいたいと、日本語カフェを始めました。

また、2022年11月26日(土)に、コロナ蔓延防止期間や感染者増加により、昨年から二度も延期になっていたベトナム料理教室をやっと開催することができました。参加者は玉名市の広報で公募し、キャンセル待ちが出るほど好評でした。熊本県外国人サポートセンターからベトナム人スタッフのグエン・ティ・キム・ハンさんが講師として来てくださり、生春巻き、フォー(右下の写真)を作りました。コロナの心配も落ち着いたので、今回は久しぶりにテイクアウトではなく、出来立ての料理を隣の和室でみんなで一緒に食べました。終始とても和やかな雰囲気、初めて参加された方も喜んでおられました。

来年度も玉名菖蒲祭り・浴衣着付け体験、韓国料理教室、英会話教室・韓国語教室・日本語カフェなどいろいろ計画しておりますので、たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

詳しくは、下記の連絡先までお問い合わせください。

文責 松田希史子



外国の方たちとの交流会にて



調理風景(左3番目ハン先生)



生春巻きとフォー

〈連絡先〉

玉名国際交流協会
〒865-0016 熊本県玉名市岩崎1104-1 玉名地域振興局2F
TEL : (0968) 73-5911 E-Mail : Taice1984@gmail.com

◆ウクライナ避難民受け入れ

認定NPO法人れんげ国際ボランティア会 (ARTIC)

当会は、2022年6月15日(水)に玉名郡玉東町と協定を結び、「オレンジネットワーク プロジェクト」を立ち上げ、町内でのウクライナ避難民受け入れに関する一連の流れのサポートを行っています(ビザの取得、日本語学習、就学・就労のお手伝い、交流の促進など)。2023年1月末現在、4世帯13名のウクライナ人の方が玉東町で避難生活を送っています。

避難民の受け入れに当たり、玉東町内では優しさの和が広がっています。小中学校の子ども達は、ウクライナからの転校生(5人)にたくさん話しかけてくれ、教室を移動する際には手をつなぎ、連れて行ってくれます。町を歩いていると「携帯にウクライナ語の翻訳アプリをダウンロードしたよ!」と言ってくれる方も多くおられます。地域の公民館で食事会を催してくれたり、「ウクライナの皆さんに食べて頂きたい」と言って役場に果物や野菜を届けて下さる方もいらっしゃいます。

このプロジェクトは、玉東町の皆さまを始めとして、熊本の人々の温かいご支援のおかげで実現しています。避難民のご家族達が「日本に来られて良かった、熊本に住めて良かった」と言って頂けるよう、今後ともご支援の程、よろしくお願い致します。

文責 久家誠司



先着家族と共に2組目の家族をお出迎え

地元住民とのバーベキュー
(バーベキュー好きは世界共通)国際交流ワークショップ参加
(日本はもちろん世界のことを学びました)

◆第1回国際スポーツ交流会を開催しました！

熊本県海外協力協会 (JICA ボランティア熊本OBOG)

2022年10月16日(日)、熊本県海外協力協会は在熊本ベトナム人協会と共催で、熊本県で初めて「国際スポーツ交流会」を開催しました。

10年前より2倍に増えた県内在住外国人のうち、技能実習生はその3分の1を占めているほど多く暮らしていますが、仕事以外に日本人と交流する機会がないことを課題に思っていました。熊本での生活をもっと楽しんで欲しい、スポーツ交流なら言葉に関係なく誰でも参加できる、と在熊本ベトナム人協会からの声掛けもあり、開催実現となりました。

当日は、バドミントン128名(ベトナム人79名、日本人44名、アメリカ、イギリス、パキスタン、フィリピン)、サッカー 93名(ベトナム、ネパール)、計221名+応援の参加、外国人従業員を雇用する熊本の企業様からの協賛もあり、大盛況となりました。

「ベトナムの人たち、バドミントン上手でびっくりした〜!」「初めて外国人と話したよ」という日本人の声や、「もっとたくさん日本人と話したかった」「交流って聞いて参加したらガチな試合だった」などの感想もありました。運営側にとっては、ベトナムと日本の企画の進め方、試合運営の違いなど、異文化交流の勉強になりました。

次回は2023年の秋に開催予定です。もっと多くの県内在住外国籍の皆さんと日本人を巻き込んでいきますので、皆様の応援と参加をお待ちしています!

文責 阿南栄子

イベント情報などはこちらから!
熊本県海外協力協会Facebook

▶若者のアウトバウンド推進事業について

熊本県国際協会では、熊本の未来を担う若者が海外への第一歩を踏み出せるよう、「若者のアウトバウンド推進事業」として、2つの助成事業を実施しています。令和5年度は、6月から開始予定です。詳細は6月以降熊本県国際協会のホームページをご覧ください。

パスポート取得助成事業

県内外の学校に在籍する15歳以上30歳未満で、初めてパスポートを取得（熊本県内）し、海外に渡航した場合、1人当たり5,000円を助成します。

事前にホームページからの申請及び帰国後に報告書等の提出が必要となります。

海外への修学旅行事前視察調査助成金交付事業

県内の高等学校が新たに海外への修学旅行を検討される場合、現地視察調査に要する海外渡航費等の経費の一部を助成します。

1人でも多くの学生の皆さんが、貴重な海外体験を通じて多くの学びを得られることを期待して、たくさんの方の御利用をお待ちしております。

【お申込み・お問合せ先】

TEL 096-333-2159 E-mail kuma-outbound@sage.ocn.ne.jp

会員団体行事予定

Event schedule

事業名	開催日時・場所	事業内容	主催者・問合せ先
第25期市民講座 「懐かしい国・ アイルランドの 心を辿る」	2023年5月27日(土) 14:00~15:30 (株)お菓子の香梅帯山店 ドウ・アート・スペース	本間康夫氏(崇城大学名誉教授) 「アイルランド音楽の魅力」で講座を開講します。 http://www.kumamoto-ireland.org/	熊本アイルランド協会 笹原 元子 096-366-5151
	2023年6月24日(土) 14:00~15:30 同上	高木朝子氏(熊本高専准教授) 『アイルランドの民話と妖精』で講座を開講します。	
	2023年7月22日(土) 14:00~15:30 同上	西川盛雄氏(熊本大学名誉教授) 『アイルランドとハーン』で講座を開講します。	
	2023年8月26日(土) 14:00~15:30 同上	八幡雅彦氏(元別府大学短期大学部教授、大分県アイルランド研究協会) 『アイルランド系アメリカ人小説を読む』(仮題)で講座を開講します。	
第32回 国際教育のための 夏季研修会	2023年8月9日(水) 水前寺共済会館	海外の日本人学校から帰国された方によるその国の最新情報です。	熊本県国際教育研究会 北原 史善 096-367-8113
アフリカの 子どもの日	2023年7月8日~9日 県立劇場・熊本学園大学	アフリカ駐日大使・アフリカ留学生、前ユニセフモザンビーク職員を招いて、高校生とアフリカと日本の未来を考える。	熊本県ユニセフ協会 保田 清美 090-9592-6664
ユニセフ講演会	2023年10月	高須幸雄国連大使を招いて、子どもの権利条約について学び(出前授業・ワークショップ先生研修)。	
「ユニセフ ハンド・ インハンド」募金	2023年12月	最も厳しい状況にある子どもたちの願いをかなえたいと7カ所の会場で街頭募金。	